

2014年6月28日

河北潟地区国営土地改良事業推進協議会 会長 山野之義 殿

河北潟自然再生協議会
代表世話人 小谷達郎

河北潟及び周辺地域の自然環境への配慮を求める要望書

北國新聞6月27日朝刊によると、貴協議会は、国営施設応急対策事業をすすめ揚水機場の更新をおこなうことともに、将来的に排水施設の更新や整備をおこなうための国営土地改良事業地区調査に着手するよう関係機関への要望をおこなうとされています。

これまで河北潟周辺地域において実施されてきた農業排水施設の整備やその他の湛水防除事業において、自然環境への十分な配慮がおこなわれてこなかったため、地域の水辺環境の多様性は失われてきました。現在の河北潟周辺地域の農業排水路は、人工化が進み自然環境の点からは劣化した水辺となっていますが、それでも残された水生生物の生息空間として重要な環境です。実際に、農地・水保全管理支払交付金の農村環境保全活動でおこなわれている子ども達の生物調査の多くは、こうした農業排水路で実施されています。

河北潟周辺地域において、これ以上の水辺の劣化を避け、野生生物と子ども達のための空間を残すためには、排水路を含む農業排水施設が、野生生物の重要な生息空間であるという認識を持って、施設の整備、更新が図られることが肝要と考えます。

そこで、当協議会は、貴協議会の設立にあたり、河北潟の自然環境保全と野生生物の生息空間の確保のため、以下のことを要望いたします。なお、本要望書は6月28日に開催された河北潟自然再生協議会通常総会の特別決議に基づき提出するものです。

1. 農業排水施設の更新にあたり、生物多様性の観点を取り入れ、環境の劣化を防ぐとともに、できるかぎり自然の再生を図ること。
2. 事業の実施にあたっては、河北潟自然再生協議会をはじめとする住民組織や地域で活動する環境NPO等との調整を図ること。
3. 自然環境・野生生物の分野の専門家に聞き取りをおこなうなどして、その意見を事業計画に活かすこと。